

毎月1日と15日は

「町内一斉ノーテレビビデオ」キャンペーン

南部町の子ども達は、これまでの調査から、テレビやビデオを見たり、ゲームをする時間が長いという傾向にあります。

テレビ、ビデオ、ゲーム等への長時間の接触は、子どもの発達にいろいろな影響が起ころうことが懸念されており、日本小児科医学会や教育関係者などから様々な提言や報告がなされています。(表1)

そこで、保育園・小学校・中学校の教職員と教育委員会事務局員で組織される南部町教育振興会が中心となり、健康福祉課などと連携して、去年12月から「町内一斉ノーテレビビデオ」キャンペーンに取り組んでいます。町内の子ども達が一斉に取り組むことにより、キャンペーンの周知徹底を図り、効果をあげたいと思っています。

家庭によってさまざまな事情があります。取り組みレベル表(表2)を見て、自分たちのできるところから始めてみてください。そして、1日と15日だけではなく、毎日のルールや約束づくりにつなげていってほしいと思います。

ここから始めてみてください。そして、1日と15日だけではなく、毎日のルールや約束づくりにつなげていってほしいと思います。

(表1)

懸念される子どもへの影響

- ・ テレビやゲームなどに長時間ふれると、前頭葉(大脳の一部)が働かなくなり、イライラしたり、落ち着きがなくなったり、記憶力がなくなったりする。
- ・ 小さい頃からの暴力映像が粗暴な言動につながる。また、現実とゲームの中での出来事を混同してしまう。
- ・ 言葉の遅れが見られたり、周りの人と関わる力が低下する。
- ・ 運動不足や体力不足になる。
- ・ 低学年から視力が低下する。

(表2) 取り組みレベル表

レベル1	食事中はテレビやビデオを消す
レベル2	夜9時以降はテレビ・ビデオを見ない、ゲームをしない
レベル3	テレビやビデオ、ゲームは1日1時間まで
レベル4	家に帰ってからテレビやビデオを見ない、ゲームをしない
レベル5	一日中テレビやビデオを見ない、ゲームをしない

わら馬づくりに

会見第二小学校

12月3日、会見第二小学校で恒例のわら馬づくりが行われました。わら馬づくりは、昔ながらの手作業を行うことで、伝統文化にふれ、地域を大切にすることを育てたいと毎年行っています。

講師に地域の方を迎え、子ども達は熱心に教わり、高学年は毎年習っているおかげで、手際よく作業を進めていました。

出来上がったわら馬は、12月15日の早朝にサイノカミに奉納されました。



下学年グループもがんばっています